



# 安定した経営と入念な準備で スムーズな事業承継に

## 株式会社 ムラカワ

代表取締役 村川 浩一さん

株式会社ムラカワは、1980年に先代社長が知人の紹介で自転車部品の組み立て作業を請け負ったことから始まり、現在は金属加工業と一般貨物自動車運送事業を行っています。

2021年6月には事業承継が行われ、創業者である先代社長の長男、村川浩一さんが代表取締役に就任しました。1996年に業態が組み立て事業から金属加工業に変更した際に、業務へ関わり始めた浩一さん。現場で多くのことを経験し、学んだことが、経営者としての資質を育みました。



## 株式会社ムラカワと 村川浩一さんの 歩み

株式会社ムラカワ（以下ムラカワ）は、1980年に先代社長が村川工作所として創業したのが始まりで、当時は自転車部品メーカーからの受注で、自転車部品の組み立てを行っていました。その後1990年に有限会社村川工業として法人化し、2015年には株式

会社ムラカワに社名変更し、金属加工業と運送業を事業の柱に据え、今日に至っています。

ムラカワは15年間、自転車部品の組み立てを請け負っていましたが、1996年になってメーカーはその部品の組み立てを海外の工場へ移設することにしました。それによりムラカワは、メーカーから金属加工への業態変更を勧められました。しかし、当時のムラカワには金属加工用の機械もなく、技術のある社員もいなかったため、大学生の浩一さんがその業務を担当することになりました。そこで浩一さんは、機械の操作方法と、加工の技術を学ぶために、大学を休学しメーカーの工場に通い始めました。半年後には、習得した技術をムラカワの社員に教え引き継ぎ、大学に復学しようと思っていた浩一さんでしたが、全く未経験の分野だったこともあり、機械操作を覚えるのが精一杯。何とかこなせるようになるまでに2、3年かかり、結局大学を中退しムラカワに正式入社することになりました。浩一さんの入社と同時にムラカワに加工部門が設立され、徐々に業容を拡大し、現在に至っています。

## 事業承継 特別保証を 利用して

ムラカワでは2021年には事業承継が行われ、浩一さんが代表取締役社長に就任しました。同社の事業承継への準備は万端で、先代社長の株式譲渡を予め進め、経営の安定を継続するための経営努力も怠らず、事業承継を行うタイミングを見計らっていました。

そのような折、取引金融機関を通じて紹介されたのが、山口県信用保証協会の事業承継特別保証制度でした。同制度は、金融機関からの融資の保証人の引継ぎが事業承継の際のネックの1つとなっていることから、これを解決するため2020年4月にできた新しい信用保証制度です。

利用要件としては、①事業承継を3年以内に行う承継計画を有する法人、または②令和7年3月31日までに事業承継を実施した法人であって、事業承継日から3年を経過していないもの、かつ③以下の財務要件（注）を全て





満たす中小企業者となります。

(注)

(A) 資産超過であること。

(B) EBITDA有利子負債倍率が15倍以内であること。

(C) 法人・個人の分離がなされていること。

(D) 返済緩和をしている借入金がないこと。

※EBITDA有利子負債倍率=(借入金・社債-現預金)÷(営業利益+減価償却費)

ムラカワは事業承継後の対応となりましたが、これまでの親子二人三脚で築いてきた企業努力の積み上げにより、同制度の要件を充足し、何の問題もなく経営者保証を解除することができました。

企業の経営を信頼できる後継者に引き継ぐ事業承継は、その後継者の経営手腕が企業の存続にかかわる重要な取り組みとなっています。近年では後継者不在や事業承継がうまくいかないまま、廃業せざるを得ない企業も増加しており、事業承継の重要性は増えています。

山口県信用保証協会では、事業承継特別保証制度の活用を積極的に推進しています。また、山口県中小企業診断協会と連携し

て行う経営支援強化事業においても、事業承継に関する診断を行っており、山口県事業承継引継ぎ支援センター等の関係機関とも連携を図り、企業の事業承継をサポートしています。

## ターニング ポイントとなった 事業承継

高校の数学教師になるために大学で勉強していたのですが、期せずして大学中退、ムラカワ入社、そして代表取締役になるという人生を歩んできた浩一さん。初めは何でも自分がやらなくてはという責任感や使命感がありましたが、一人ですることには限界があり、社員を信頼して任せることや、若い社員を育てることの大切さを覚えました。社会に出て多くのことを学び成長し、経営に関わることで社員を守る大切さも学びました。数字に強い浩一さんは、数字を見て会社の経営状況や改善

点が把握できるというのも、経営者としての強みです。

生産効率を上げれば会社の利益向上になり、自分たちの利益となって返ってくるし、次のステップにも進むことができる。ものづくりは辛いことも多かったが、今は楽しい、教師にならなくて良かったと、浩一さんは言います。

2017年にはISOを取得したので、社員も自信を持って働くことができ、内部環境も充実し、生産性も向上するという、良いスパイラルが起きているムラカワ。今後は自社オリジナルの部品を製造したいし、二人の息子が後を継ぎたいと思ってくれるような会社になりたいと、経営者として成長する大きなターニングポイントとなった事業承継を経て、浩一さんの目標は将来を見据えています。



### 株式会社ムラカワ

所在地 〒752-0927  
下関市長府扇町6-35

連絡先 TEL.083-248-3049  
FAX.083-248-3249

H.P. <https://murakawa-shimonoseki.com/>